

ひまわりの声

2010 3

題字は高森政雄区連会会長

編集・発行 港南区連合町内会長連絡協議会

「地域福祉保健計画と災害時要援護者対策」に取組ます。



高森政雄 港南区連合町内会長連絡協議会会長

区民の皆さんには、日ごろから「区連会」の活動にご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

少子高齢化の進展など地域を取り巻く環境は大きな変化を見せている時代だか

らこそ、住みよい地域づくりを進めていくためには、「住民が主体」となりつつ、行政とのパートナーシップによる地域運営がさらに必要であると思っています。

区連会としては、昨年に引き続き、今後の地域での相互扶助の核となる「地区別地域福祉保健計画」や「災害時要援護者対策」の策定・推進について、積極的に取組んでまいります。

区民の皆さん方のご参加とご協力をお願いします。

皆さまの地域活動の参考になれば幸いです。

特徴的な子どもとシニア世代の交流活動などを行っている団体をご紹介します。

新春2010年の第1号（3月発行、通算第4号）は、区連会を構成する15連合町内会及び123単位自治会町内会の活動の中から、“子どもとシニア中心”的交流活動と高齢者の健康保持活動の面で個性的な団体を「ひまわりの声」の編集サイドが取材しましたのでご紹介します。皆さまの自主的活動の参考となれば幸いです。なお、この種の企画は、今後一段と強化しつつ継続していきます。

永野連合町内会(美晴台自治会)

去る1月17日、永野連合町内会に所属する美晴台自治会を取材しました。自治会館に金子慎治自治会長、中本実恵子総務部長、柳田幹子子供会部長、地域シルバークラブ「福寿会」吉田栄一会長、池上良二スポーツ部長の5人が出席、取材サイドは区連会事務局員と編集委員の2人が伺いました。座談会は、取材サイドがそれぞれの人達に質問し、それに応えていただくと言うスタイルにしました。

美晴台自治会と言う組織の最大のモットーはどのようなものですか。

金子会長のお話

私たちの自治会は昭和38年に発足、現時点での加入世帯数は約700です。私たちの自治会の特徴は、1つ当たり20~30世帯で編成される28の“組”により構成

されている点です。自治会自体はこれら“組”的代表等の役員30人により運営されています。このような組織ですから、必然的に各組の自主性が尊重され、また、その権限も強いと言えます。この仕組みには、様々なメリットがありますが、28の組がバラバラとなっては、これらのメリットは消滅してしまいます。そのため私たちの最大のモットーはとにかくにも「地域住民の連帯の強化」と言うことなのです。

自治会としての活動のジャンルは他の地域と大差がありませんが、それぞれの内容は個性的であると自負しています。

例えば、防災問題は私たちの組織メリットが遺憾なく發揮されている代表例です。

各組は年に1回、組の会員（各家庭より1~3人）が一堂に会し、可能な限りプライバシーの“壁”を取り払い、万一の大災害に備えた話し合いをします。私

は会長としても出席しますが、その話し合いの内容は正に突っ込んだものです。

したがって、具体的な内容は公表はできませんが、万一のときには組単位の助け合い活動は確実に威力を發揮できると確信しています。



美晴台自治会のみなさん

防災問題と同様に、防犯問題も各地域の自主活動の主要なものです。私たちの場合、高齢者層を中心とする“ボランティアグループ”と組単位で編成される“オフィシャルグループ”的2組織があり、週に3回程度、交互に防犯パトロールを実施しています。特にボランティアグループは時間的に自由なので、登下校の学童の見守り活動にも積極的に参加しています。

毎年9月15日に自治会の主催で実施される「敬老会の催し会場」には、この日のために子どもたちが一所懸命に描いた“敬愛する祖父母”的似顔絵が展示されます。この似顔絵を見て涙ぐむ高齢者の人達もいらっしゃるほどです。昨年は6点の展示がありました。

また、役員会は毎月1回開催していますが、会議を始める前に30人の役員全員で、“北原白秋作詞、山田耕作作曲”的ような歌曲を合唱します。この合唱により、役員全員の緊張がほぐれるのでしょうか、会議には誠に柔軟な発想や発言が多発し、大いに盛り上がります。

どの地域でも“子ども対策”を重視しつつも、具体策に苦慮していると言う印象がありますが。

柳田部長のお話

私たちの子供会は、なかなか強力です。幼稚園の年長組から中学生までの約100人の組織です。年間を通じて、子供会の3大イベントは、「福寿会」スポーツ部との共催で実施する春のペタンク大会に参加すること、自治会主催の夏祭りで、必死に練習を重ねた太鼓の演奏を“櫓”的上での披露する

こと、そして、毎年10月31日の“ハロウィン”に、子供会のメンバーが、“かわいいお化け”に扮して「かわいいお化け大歓迎」のサインのある家々をグループで回り、お菓子をもらって大喜びして盛り上がることです。

昨年の場合、50人もの子どもたちが“かわいいお化け”に扮し、8軒の家々を訪問し大盛況でした。

どの地域でも住民の高齢化が進歩していますが、「福寿会」の活動の方向はどのようなものですか。

吉田会長、池上部長のお話

私たちは、従来の「老人会」と言うイメージを打破し、より多くの人々が積極的に参加しやすい雰囲気のクラブ活動を目指しています。

そこで、私たちは、子どもたちの“絶大な魅力と力”を押借しながら活動しているのです。スポーツ部の主催で年に1回、ペタンク大会を開催しますが、この仕組みは子供会から1人、ミドルクラスから1人、シルバークラスから1人の計3人を1チームとし、25~30チームで総当たり制の予選を実施して12チームを選抜し、トーナメントを行い優勝チームを決定するのです。



美晴台自治会 子ども御輿

これらのイベントは私たちの地域特有のもので、子どもたちは無論のこと、保護者を中心とする“大人達”も大いに盛り上がります。

これらの盛り上がりこそ、私たちの最大のモットーである「地域住民の連帯の強化」の原動力であると自負しています。



永野連合町内会（上永谷富士見台自治会）

去る1月22日、永野連合町内会に所属する自治会の一つ上永谷富士見台自治会（福澤輝男会長）の取材をしました。

自治会側の出席者は、永野連合町内会副会長兼上永谷富士見台自治会会长 福澤輝男さん、永野地区老人クラブ連合会会長 鳩田政吉さん、富士見台シニアクラブ「永仁クラブ」会長 小河正明さん、永野連合子供会連絡協議会会長 田野井靖雄さん、副会長 深野恵子さん、永野地区老人会相談役 藤澤実さんの計6人でした。取材サイドからは、区連会事務局から1人、編集委員から1人の計2人でした。取材は上永谷富士見台自治会館で行われました。

今回の取材のメインテーマは、「子どもとシニア世代を中心とする地域活動」等に関して、永野連合地区の個性的だと思われる活動を具体的にご紹介いただきたいのです。幸い本日は、それぞれのジャンルの責任者がご出席なので、よろしくお願ひします。

永野連合子供会連絡協議会 田野井さん、深野さんのお話

私たちの子供会は、40数年前に発足、現在は保育園、幼稚園、小学生、中学生で構成され、約100人のメンバーが活動しています。

私たちの重要な活動（イベント）の主要なものには次のようなものがあります。

①毎年夏に実施している子どもを中心とする日帰りバス旅行があります。毎回20人以上の子どもと、

20人前後の保護者の参加があります。

- ②毎年11月には、子どもと高齢者の“触れ合い会”を開催しています。具体的には、子どもたちと高齢者で混成チームを組んだペタンク大会です。毎回30人以上の子どもたちが参加します。
- ③毎年12月には、「子ども餅つき大会」を開催しています。100人以上の子ども達が参加し、こちらも大いに盛り上がります。

以上の通り、地域の子どもたちが“地域活動”に積極的に参加してくれるのは、永野小学校が地域活動に非常に協力的であるからだと考えています。この永野小学校の姿勢は、私たち地域住民にとって誠に貴重なものと感謝しています。

（非常に内容が豊富なので、紙面の都合上、残念ながら、以下は次号以降での御紹介とさせていただきます。編集委員）



上永谷富士見台自治会 餅つき大会

日野南連合自治会地域内の「みちの会」

去る1月20日、午後1時より日野南連合地域の任意団体「みちの会」の取材をしました。場所は野村港南台・港南つつじヶ丘自治会館です（日野南6-43-6）。

テーマは、平成15年10月に第1回を実施してから、今年の1月18日の寒川神社への初詣をもって足かけ7年間、通算56回、延べの参加者が実に2,200人に達するという実績を誇る健康の維持を目的とする「ウォーキング会」の活動に関するものでした。

「みちの会」側の出席者はリーダー格の井手純也さんをはじめとし、前島弘行さん、杭瀬和代さん、星野芳郎さん、吉田博至さんの計5人の“世話役”的な方々でした。取材サイドからは、区連会会報担当である遠藤良一永谷連合町内会長、中島淑子日下連合町内会長並びに区連会事務局より2人、編集委員1人の計5人でした。

どのような運営をすれば、

日野南連合自治会地域内の「みちの会」のように成功できるのか、その辺のポイントをご紹介いただければと思います。



座談会の様子

「みちの会」について

「平成14、15年に、この地域でそれぞれ30件に達する家屋侵入犯罪が発生し、住民に衝撃を与えました。『みちの会』はこの最悪の事態に対応する自主的“防犯活動”を目的に、平成15年8月、日野南5、6、7丁目地域の有志56人が「自由意志」により結集し、自治会等の公式なものとは全く別組織のものとして、まさに自然発生的に誕生し、成長した“任意グループ”です。そのため「会則」とか「規約」の類は一切なし、連絡担当の“世話役”以外の役員もなし、“入会”も“脱会”も全く自由、会費もなし……つまり、一切の義務的要素はありません。要求されるのは、“良識”的なものです。この「みちの会」の防犯パトロール活動は、平成16年警察庁が全国で100ヶ所認定した「地域安全・安心ステーションモデル事業」に選定されるほどに“有名”です。

さて、「みちの会」とウォーキング会との関係ですが、会の発足時に事実上の“会長”であった久末道雄さんが、ご夫婦で長年にわたり実施している健康づくりと趣味としてのウォーキング（久末夫人は国際ウォーキングクラブのメンバー）を会のアメニティ分野のものとして提言、平成15年10月に、港南区の円海山から鎌倉までの尾根を縦走する第1回目のウォーキングを実施し、約40人もの人が参加しました。

各出席世話役の皆さまのお話

7人の世話役は、年に1回、全員で親睦旅行をしつつ、

1年間のウォーキングの計画を立てます。第1回からの原則は、私たちの“街”から歩行で往復できる範囲（歩行距離は7~10km程度）としていますが、既にその範囲内は行きつくしています。最近は電車を利用して、少し離れた場所へ行っています。場所の選定は7人の世話役で議論し、下見をして決定します。場所の選定のポイントは、トイレの便が良く、シーズン毎の特徴があり、30~50人の参加者が弁当を食べられる場所か食事処があることです。

ウォーキングに参加する人々がいるからこそ、このウォーキング会が存続しています。私たち世話役が“苦労している”とか“参加者の面倒を見ている”とか言ったら最後、この会は衰退していくことでしょう。私たち世話役は参加する皆さんのがんばりっこ”の姿勢は大歓迎です。参加する皆さんのがんばりっこ”の姿勢は大歓迎です。参加する皆さんのがんばりっこ”の姿勢は大歓迎です。私たち世話役の喜びと体力とかを考えながら場所を選定し、必ず下見を行っています。この“下見”自体も楽しいのです。つまり、私たち世話役の喜びと楽しみが、参加する皆さんのがんばりっこ”であるという点が、このウォーキング会が継続しているポイントであると考えています。



地域のイベント情報（～7月）

各自治会町内会で行われる主なイベントについてお知らせします。

| 日 程 | 名 称 | 主な 内 容 | 場 所 | 担当自治会町内会 |
|---------------|------------|------------------|---------|--------------------|
| 4月 3日(土) | 港南さくらまつり | パレード、御輿など | 桜 道 | 笹下連合町内会 |
| 4月29日(木) 祝 | ふれあいこども祭り | 子どもたちと地域住民との交流事業 | 港南台北公園 | 日野連合町内会 |
| 5月16日(日) | 渡戸自治会運動会 | 運動会 | 下永谷小学校 | 永谷連合町内会 (渡戸自治会) |
| 5月30日(日) | 大岡川クリーンアップ | 会場付近の大岡川の清掃 | 笹野橋公園ほか | 笹下連合町内会 |
| 7月17日(土) | 笹下子供防災キャンプ | 防災訓練、1泊研修 | 南台小ほか | 笹下連合町内会 |

※この他にも多くの情報を寄せ頂きましたが、紙面の都合上割愛させていただいたことをご了承願います。

編集後記

■本号では、いよいよ各地域を積極的に取材し、それぞれの活動を具体的に紹介するという、本来の目的に向けてのスタートをしました。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は区連会事務局までお寄せください。■区連会会報担当 遠藤良一／中島淑子、編集委員

松田英樹
(横浜市港南区港南中央通10-1
港南区役所地域振興課内
☎ 847-8391 FAX 842-8193)